

## ◆講演『原子力災害と放射線健康リスク』

福島県立医科大学 副学長(国際担当) 山下 俊一 氏

### 【講演概要】

原子力発電所の事故や災害に遭遇すると、それまでの知識体系を超えて混乱と混迷の中での対応を余儀なくされます。事故後の対応を考えると、大量放射線被ばくによる急性障害(確定的影響、組織反応)と、低線量・低線量率の放射線被ばくによる晩発性障害(確率的影響)についての正しい知識、さらに環境放射能汚染とそれによる健康リスクについての理解と洞察を深める必要があります。チェルノブイリと福島原発事故を経験し、現場の課題と将来の展望について講演を行います。



### 講師略歴

山下 俊一(やました しゅんいち)

(福島県立医科大学副学長／長崎大学学長特別補佐)

長崎大学医学部卒業、同原発後障害医療研究所教授、WHO ジュネーブ本部放射線専門科学官、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長、日本甲状腺学会理事長、福島県放射線健康リスク管理アドバイザー、内閣官房原子力災害専門家。

平成30年4月より現職

## ◆講演『世界のエネルギー情勢と原子力発電の動向』

一般社団法人 海外電力調査会 上席研究員 黒田 雄二 氏

### 【講演概要】

世界のエネルギー環境は現在、米国シェールオイル・ガスの増産、再生可能エネルギーの拡大など、大きな変化が起こっています。また、原子力発電においては、その中心が従来の欧米諸国からロシア、中国、インドなどの国へ移行しつつあります。このような世界的なエネルギー情勢の変化とともにその中の原子力発電の動向について、主要国の対応状況を含めて説明します。



### 講師略歴

黒田 雄二(くろだ ゆうじ)

(一社)海外電力調査会 調査第一部 上席研究員

大阪大学大学院(原子力工学専攻)修士課程卒業

日本原子力発電株式会社(研究開発室長)、リサイクル燃料

貯蔵株式会社(常務取締役)、平成23年7月より現職

技術士(原子力・放射線部門)、日本原子力学会フェロー